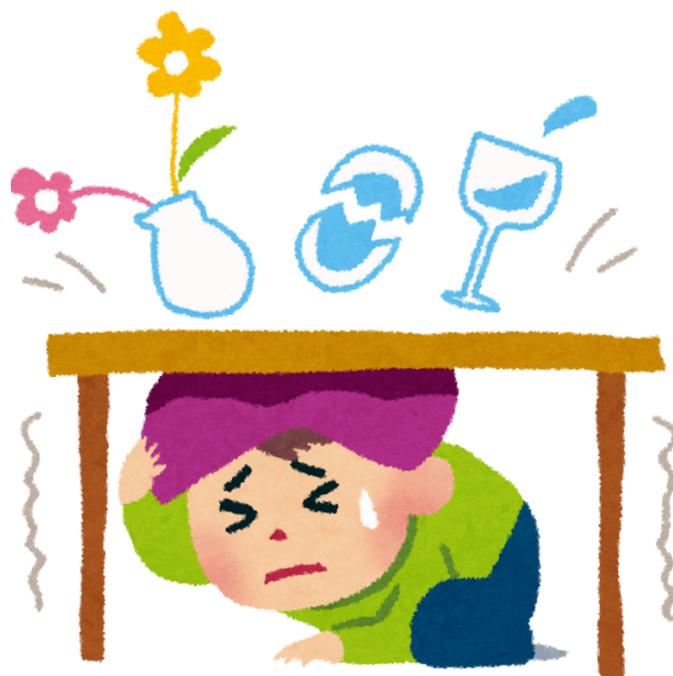


7mate会員アンケート

会社の「防災」 どうしていますか？

(2024.03調査)

2024.06



必要だとわかっていても、目の前の業務に追われて
てついつい後回しになってしまう「防災対策」。
みなさんの会社の「防災対策」はどうなっていますか？

7officeでは、全国の7mate会員様に「会社の防災」
についてお聞きしました。

「他の会社は、防災対策ってどうしてるの？」
気になる方はぜひ読んでみてくださいね！

会社で「防災対策」していますか？

「している」「検討中」が87.5%

会社で何らかの防災対策を「している」との回答は75%、「検討中」が12.5%でした。5年前に実施したアンケートでも「している」は71.4%でしたが、さらに高い結果に。防災意識は確実に高まっているようです。

まずはできることから始めることが大切です！

どんな「防災対策」をしていますか？

「飲料水・食品の備蓄」と 「避難経路の確認」は 7割以上の会社が実施または検討中

実施または検討中の防災対策として最も多かったのが「飲料水・食品の備蓄」「避難経路や避難場所の確認・社内周知」でした。特に社員数が多い事業所では、安全な避難のために避難経路の確認が行われていることがわかりました。

2番目に多かったのが「避難訓練や安否確認の実施（57.8%）」次いで「防災用品の備蓄」「非常用電源の準備（50%）」でした。電源の確保はどの業種においても重要になってきているようです。



「BCPを策定している」と回答があったうちの8割が「製造業」でした！

会社で用意している「防災用品」は？

1位は「懐中電灯・ライト」！ 「乾電池」「発電機」「充電機」も 50%以上の会社が準備済み

防災用品として最も多く用意されているのは「懐中電灯・ライト」の78.6%でした。

- 1 懐中電灯・ライト 78.6%
- 2 飲料水・生活用水 71.4%
- 3 乾電池 64.3%
- 4 救急用品 57.1%
- 5 食品 ヘルメット ラジオ 発電機 充電器 50%



「トイレ（簡易トイレ・携帯トイレ）」「毛布」「寝袋」等がこれに続きましたが、50%には満たない結果でした。

勤務時間に地震等の災害が発生した場合、帰宅困難となり、会社に1日から数日留まらなくてはならない可能性もあります。

帰宅困難を想定した防災用品の準備を進めておきたいところです。

災害時には正確な情報を迅速にキャッチすることが大切になります。そのためにも電源まわりの対策はしっかりしておきましょう。



災害時は「トイレ」が大きな課題になります。
女性用の衛生用品と合わせて見直してみませんか？

あなたの会社では

「安否確認」 どうしていますか？

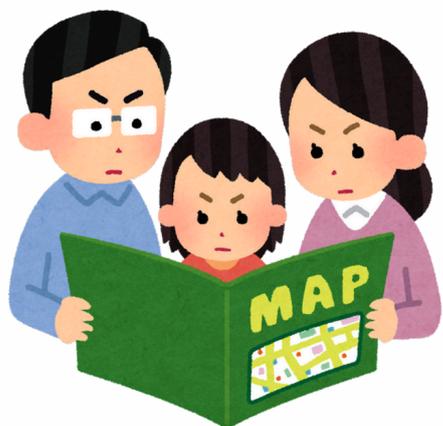
「社内メール・チャットやLINE」を使用 「電話」を使う会社も

「安否確認」の方法についての質問では「社内メール・チャット、LINEの使用」と「電話」が最も多い回答となりました。ふだんから使い慣れているツールは、いざという時に迷うことなく使えるのがメリットといえますね。

ただ、災害時は電話がつながりにくくなることもあるため、緊急の安否確認には課題が残ります。

専用の安否確認システムを導入している7mate会員さまは31.3%でした。これらの7mate会員さまについて、業種や社員数の傾向は特に見られませんでした。より早く確実な安否確認のために、安定稼働実績のある専用システムを検討するのも有効といえるでしょう。

一方で「安否確認方法がわからない・決まっていない」という回答も25%ありました。



安否確認の方法を
決めることから
始めてみてもいいかも！

こんなお悩みも…

災害が発生したら会社に待機？帰宅？ 防災対策、どこから始めよう？

会社の防災や防災対策についてのご意見をお聞きしたところ、
「**自宅の対策として、水・乾パン等を備蓄している**」との声がありました。
ご家庭での防災対策は進みつつあるようです。

会社の対策としては「**会社に用意する防災用品等は、会社待機用を念頭に揃えるのか、自宅へ帰宅することを前提に揃えるのか悩む**」とのご意見が寄せられました。

営業時間内に災害が発生した時、待機するか帰宅を優先するかは、会社の所在地が市街地か郊外か、地域の災害特性や交通事情、社員の方の居住地などにより、判断がわかれるところです。会社の方針を確認し、できることから防災対策を始めたいですね。



7mateポータル

会社の「防災」についてのアンケート
(2024.03調査)

アンケートにご協力いただいた7mate会員のみなさま
ご協力ありがとうございました